



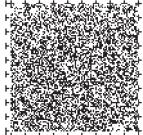
新とちぎ 未来創造 プラン 2026-2030

そ う ぞ う

とも つく ち いき かがや
共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”



とちぎけん
栃木県



音声コード Uni-Voice

このパンフレットには、音声コード「Uni-Voice」が印刷されています。スマートフォン専用アプリ等で読み取ると、音声で内容が確認できます。

とちぎの未来を みんなでつくる

どうがばん
動画版はこちる！



1

新とちぎ未来創造 プランってなに？

このプラン(計画)は、めざす栃木県の将来像を描き、
その実現に向けて、2026年度から5年間の目標や力を
入れて取り組むことをまとめた、県の大切な指針です。
県庁だけでなく、県民や企業、NPO※、団体など、地域
のみんなが同じ課題や価値観を共有し、未来に向かって
一緒に進むための共通の目標でもあります。

※NPOは、「Non-Profit Organization」の頭文字をとったもので、
「民間非営利組織」という意味です。一般的には、利益追求のためでは
なく、社会的な使命の実現や課題の解決を目指して活動する組織です。



プラン(計画)は、めざす将来像にたどり着くための地図
でもあります。地図があると、こんないいことがありますね。

とちぎの 将来像

2
どうして
計画が必要
なの？



音声コード Uni-Voice

1 新とちぎ未来創造プラン

計画や地図はどうやって作るのか、整理してみましょう。
ゴールにたどり着くためには、次のステップが必要です。

3

どうやって作ったの？

スタート地点を知る（現状を知る）

まず「今どこにいるか」を確認します。

課題を知る：進むために乗り越えなければならないものは何？

強みを知る：使える道具や材料は何がある？

目的地を決める（ゴールを設定する）

次に「どこへ行きたいか」を決めます。

目的地が決まると、進む方向がはっきりします。

行き方を決める（やることを決める）

目的地までのルートを考えて決めます。

どんな方法で？どんな道順で？

よりよい計画にするには…

- ・色々な人の意見を聞いて取り入れよう
- ・ときどき、どこまで進んだのか確かめよう

まとめ

計画づくりは「地図づくり」と同じ。現在地 → 目的地 → ルート そしてアドバイスとふりかえり
これらをしっかりとやることで、目標達成がぐっと近づきます。

このプランも、同じように作られました。ゴールは、

「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」

課題（人口減少など）、強み（自然、産業など）を整理し、やることを「重点戦略」としてまとめました。さらに、専門家、県民の代表である県議会、そして県民の意見を聞いて作り上げました。

4

若者のこんな声を 計画に反映したよ

未来を担うみなさんも
とちぎをつくる主役であり
大切なメンバーです。

よりよい栃木県にするために、若者の
柔軟な発想や視点が必要です。

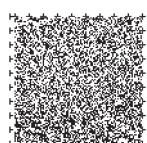
もっと若者の意見を
聞いて欲しい

子育てや勉強にかかる
負担を減らして欲しい

栃木県のいいところを
もっと発信して欲しい

移動が便利にできる
ようにして欲しい

働きたいと思える仕事を
増やして欲しい

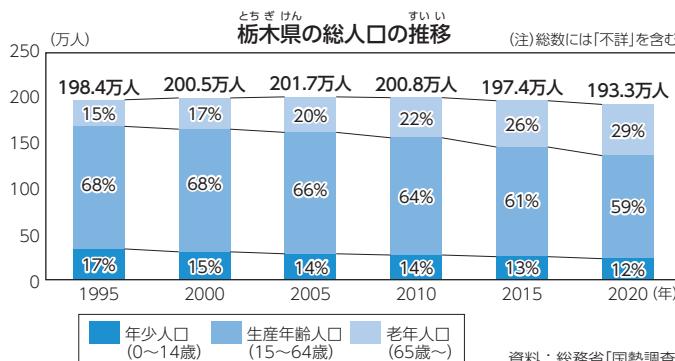


音声コード Uni-Voice

とちぎの今とこれから

とちぎけん 栃木県の人口

とちぎけんそう かこさいこう へ
栃木県の総人口は2005年に約201万7千人で過去最高になりましたが、その後は減っています。
また、65歳以上の割合が増えています。



資料：総務省「国勢調査」

「自然動態」と「社会動態」

ぞうげん し ぜんどうたい しゃかいどうたい
人口の増減には、自然動態と社会動態
の二つの要因があります。

し ぜんどうたい
自然動態: 生まれる人と亡くなる人の差
しゃかいどうたい
社会動態: 人の移動による変化

「自然動態」

「合計特殊出生率※は1970年代中頃から低下傾向にあり、2024年は全国平均と同じ1.15となっています。」

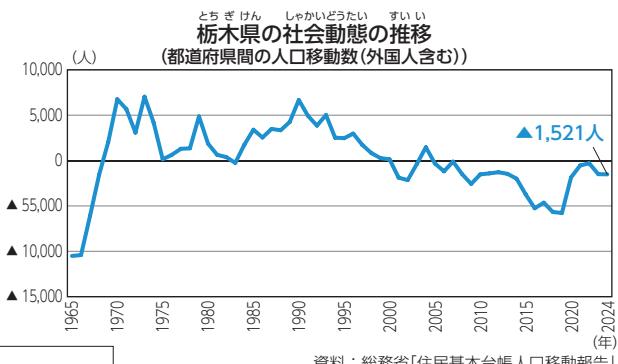


とちぎけん
栃木県で1年に
生まれる子どもの数は
10年で5,000人以上も
減っているんだ!

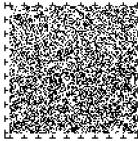
(2015年15,306人→2024年9,262人)

しゃかいどうたい 「社会動態」

2005年以降は転出超過※の状況が続き、特

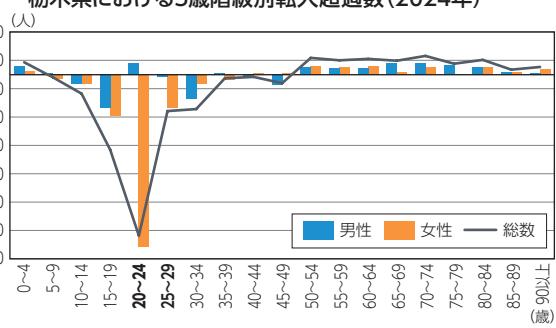


資料：總務省「住民基本台帳人口移動報告」



てんしゅつちようか
※転出超過：
ちいき
地域から出していく人が、入ってくる人より多いこと

とちぎけん さいかいきゅうべつてんにゅうちょうかすう
栃木県における5階級別転入超過数(2024年)

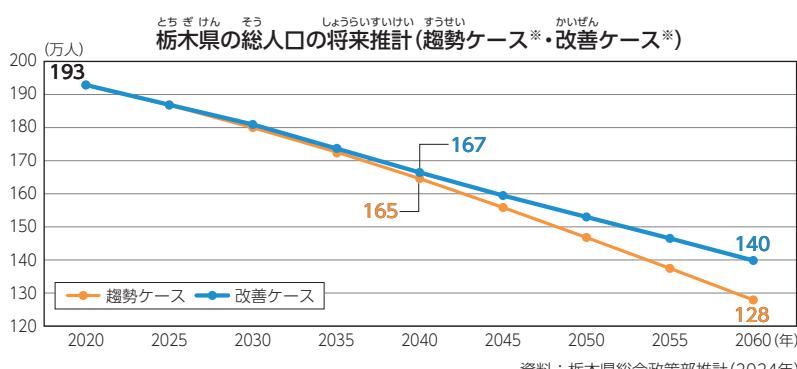


(歲)

特に東京都、埼玉県、神奈川県への転出が多いよ!



人口の将来の見通し



※趨勢ケース: 追加の対策を行わず、いまのままの流れが続く場合
※改善ケース: 対策によって状況がよくなると仮定した場合

とちぎけん しょうらい かつ
栃木県が将来にわたって活
りよく 力ある社会を維持するためには、
かくねんれいそう 各年齢層がバランスよくそろった、
こうぞう かくほ のぞ
人口構造を確保することが望ま
れます。

しゅっしょりつ こうじょう わかもの でんしゅつ
出生率の向上や若者の転出
ちゅうか かいじょう
超過の解消によって、2060年に
そそう かくほ
約140万人の総人口確保を目指
します。

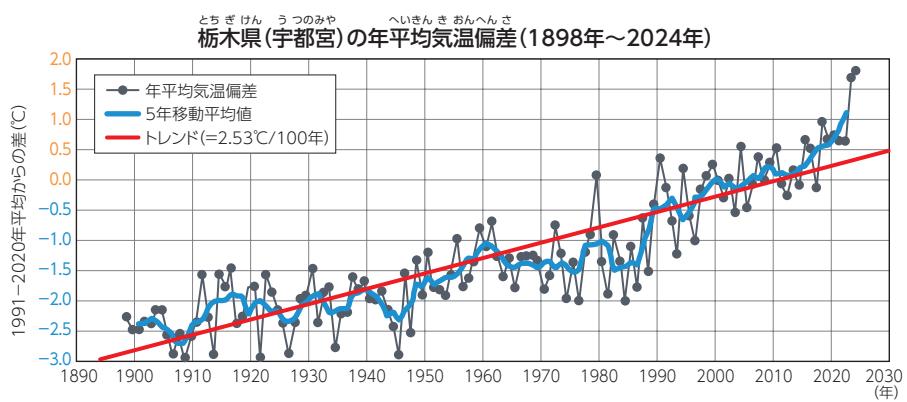
「栃木県人口未来会議」

とちぎけん かいぎ
人口減少対策には県全体で取り組むことが必要です。そこで、様々な分野の代表者が集まって、
人口減少を克服するための議論を行いました。会議の意見もこのプランに取り入れています。

社会の色々な変化

「気候変動」

とちぎけん うつのみや
地球温暖化が進んで
おり、栃木県(宇都宮)の
年平均気温は、過去100
年あたり約2.5℃上昇し
ています。



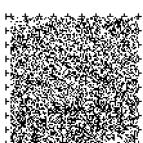
このままでは、21世紀の終わりには、今より気温が約4.5℃もあがると予想されているんだ。
それを防ぐために、カーボンニュートラル*に向けた取組を進める必要があるよ。
それでも、気候変動の影響はもう始まっているから、暑さに強い作物を育てたり、
熱中症対策をするなど、適応していく対策も必要になるよ。



※カーボンニュートラル: 地球温暖化の原因である二酸化炭素などを私たちが出す
量と植物が吸収する量を同じにして実質ゼロにすること

「自然災害」

また、大雨の回数が増えていたり、大規模地震の発生も心配されるため、こうした災害への備えも必要になっています。



音声コード Uni-Voice

とちぎのいいところを知ろう

便利で安全

東京から近く、高速道路や新幹線が通っているので、**生活や仕事に便利です。**

また、関東で一番広い面積を持ち、鬼怒川・渡良瀬川・那珂川などの大きな川が流れていて、暮らしや産業に必要な**土地、水などの資源が豊富**です。さらに、大きな地震が少ないので、**安全で安心して暮らせる地域**です。



きよはらこうぎょうだんち
清原工業団地

自然の恵みと歴史・文化

豊かな**自然**があり、**様々な動植物**が息づいています。この自然は観光の魅力にもなっていて、日光や那須は**全国でも人気の観光地**です。

珍しい動植物もたくさん



ミヤコタナゴ



わたらせゆうすいち
渡良瀬遊水地



くらまち
藏の街

また、昔から人や物が行き来する**交通の要**で、世界遺産など**歴史ある**建物や文化が残っています。織物や陶器などの**伝統工芸**やお祭り、芸能も受け継がれています。



ゆうきつむぎ
結城窯

元気な産業と豊かな農業

自動車や航空、医療機器などの工場や会社が多くある**「ものづくりの県**」です。県民の所得も全国上位です。



ロボットの活用

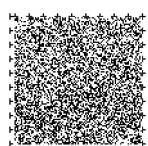


自動車製造



とちぎ
いちご王国・栃木の日

1968年から55年以上にわたり**日本一の生産量**を誇る**「いちご**」をはじめ、米、にら、かんぴょうなど**多彩な農産物**が生産されています。生乳の生産量は北海道に次ぐ全国第2位で、酪農も盛んです。元気な産業と豊かな農業は、栃木県の強みのひとつとなっています。



音声コード Uni-Voice

ちいき 地域ごとのちがいと魅力

鹿沼・日光・塩谷地区

世界遺産と豊かな自然に恵まれ、観光資源が豊富な地区だよ。

人口: 約28万人 (県全体の15%)

主な産業: 食料品製造業

農業はにら・いちご・米・鶏卵

観光・文化: 日光の社寺、鬼怒川温泉、鹿沼組子、日光彌

那須・南那須地区

自然・温泉・農業が強みで、観光と食の魅力が詰まった地区だよ。

人口: 約25万人 (県全体の13%)

主な産業: 農業は生乳・米・鶏卵、農業産出額県内最大

製造業は電気機械器具

観光・文化: 那須高原、塩原温泉、古墳群や城跡、山あげ祭、烏山和紙

栃木・小山・両毛地区

首都圏へのアクセスが良く、製造業と歴史文化が共存する地区だよ。

人口: 約60万人 (県全体の31%)

外国人比率県内最大

主な産業: 輸送用機械器具製造業 (乗り物関連)を中心とした製品出荷額等

県内トップ

観光・文化: 足利学校、蔵の街、結城紬、渡良瀬遊水地

宇都宮地区

県中央に位置し、交通の中心になっていて、会社や工場も集まる地区だよ。

人口: 約64万人 (県全体の34%)

主な産業: 自動車・航空宇宙・ロボットなど

次世代モビリティ産業、多くの工業団地

観光・文化: 餃子、大谷石、宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース

芳賀地区

製造業も農業も盛んで、いちごの一大産地。陶芸などの文化、自然、そしてレジャーも楽しめる地区だよ。

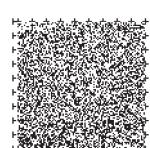
人口: 約14万人 (県全体の7%)

主な産業: 非鉄金属製造業

農業はいちご・野菜・鶏卵・米

観光・文化: 益子焼、真岡もめん、モビリティリゾートもてぎ、芝ざくら公園

自分の住んでいる地域をもっと調べてみよう
特産品は? 観光スポットは? 農業の主力品目は?
伝統工芸品は? お祭りは?
どうしたらよりよい地域になるかな?



音声コード Uni-Voice